

市立図書館
開館25周年
記念イベント

うた絵本Live Caravan



スマホひとつで、何でも視聴できる時代だからこそ、“生の音で絵本の世界を体験する”温度のあるリアルな体験を通じて、「思い出のえほん」を作りませんか。奈良商工高校制作のしおりをプレゼントします。(無料・要申込)
日時=9月19日(土)13時30分～ 場所=DMG MORI やまと郡山城ホール レセプションホール
対象・定員=だれでも、100人(先着順) 出演=COCO&tomo さん
申込=9月5日(土)からQRコードより下記へ

☎ 市立図書館(☎55-6600)

第45代 女王卑弥呼募集

あなたの魅力ある笑顔で大和郡山を元気にPR



応募資格 任期は令和9年3月下旬の「お城まつり」から約1年間



県内および近隣地域に在住・在勤・在学の18歳以上(令和9年4月1日現在)の女性(高校生不可、未婚・既婚は問いません)



特に大和郡山を愛し、年間4.0回程度観光関連の事業、キャンペーン、伝統行事などに参加できる人



芸能活動を業とせず、メディアやプロダクション等の契約がない人(任期中、他団体の親善大使等との兼任はできません)

募集人数=3人 審査=第1次面接…11月15日(日)、最終面接…12月13日(日)

申込=10月25日(日)必着で、エントリー用紙、またはフォームに必要事項を記入し、写真、自己PRの作文を同封して下記へ(詳細は観光協会HPをご確認ください)



☎ 市観光協会(〒639-1132 高田町92-16・☎52-2010)

ごみの出し方について



有害ごみの出し方

年3回の粗大ごみの日または清掃センターへの持ち込み

以下のものは「有害ごみ」です

<水銀が含まれるもの>

水銀式体温計、水銀式温度計、水銀式血圧計、水銀使用蛍光管など

<電池類>

乾電池、ボタン電池、コイン電池、リチウムイオン電池、モバイルバッテリーなど

※膨らんでいるモバイルバッテリーは、清掃センターへ直接お持ち込みください。

※市内公営施設に設置している専用の回収ボックスでも回収しています。

市役所、各支所、中央公民館、南部公民館、西田中町ふれあいセンター、保健センター、DMG MORI やまと郡山城ホール、総合公園施設、清掃センター

有害ごみを他のごみに混ぜて絶対に出さないでください!
ごみ焼却施設の火災や稼働停止、パッカー車の火災が全国的に発生しています。



ハンガーの出し方(※変更がありました)

ハンガー(金属製)については、「家庭ごみの分別と出し方手引き(令和7年度版)」において、「燃えないごみ」と掲載しておりましたが、「粗大ごみ」としてお出しいただきますようお願いいたします。

ハンガー(木製・プラスチック製)については、これまでどおり「燃えるごみ」としてお出しください。

☎ 清掃センター(☎53-3463)

第23回全国藩校サミット大和郡山大会

記念誌へ

広告を掲載しませんか

郡山の人づくりの歩みを次代へと継承する全国藩校サミット大和郡山大会に協賛し、一緒に盛り上げてくださる個人・団体・企業を募集中。大会記念誌に広告を掲載しませんか。

※記念誌は大会当日に配布・販売します。

申込=10月20日(火)までに、申請用紙などを下記へ

※広告サイズ、協賛金額など詳細は市HPへ。



☎ 第23回全国藩校サミット大和郡山大会実行委員会(まちづくり戦略課 内線733)

3日間で学ぶ

介護や介護の仕事に興味のある人へ! 介護に関する入門的研修

未経験でも
大丈夫!

介護に関心のある人、介護の仕事に興味のある人の第一歩を踏み出せるよう、介護に関する基本的な知識や技術を学ぶ「入門的研修」。前年度、大好評だったケアの現場や介護人材育成に精通した高山 彰彦 さんをお迎えし、開催します。(無料・要申込)

日時=10月3日(土)・10日(土)・17日(土) 各日9時～17時30分

場所=市役所3階305・306・307会議室

対象=介護の仕事に関心のある人、家族の介護など実践に興味のある人、3日間受講できる人、40人(先着順。申込多数の場合は未受講者優先)

申込=9月1日(火)～25日(金)までにQRコード、またはチラシ裏面の申込書によりFAXで下記へ(チラシは介護福祉課や各公民館に設置)



☎ 介護福祉課(内線514・515)

9月21日は「認知症の日」

令和6年1月1日に認知症基本法が施行し、国民が認知症の正しい理解を深め、支え合いながら活力のある社会を目指すしていくこととし、9月21日が「認知症の日」、9月1日～30日が「認知症月間」と定められました。

当市でも月間をととして、認知症になっても輝けるまちを目指し、市内各地で様々な取組を実施します。(P18にも掲載)

◆認知症関連情報を展示



日程=9月1日(火)～30日(水)

展示場所=老人福祉センター、市役所交流棟、昭和地区公民館、治道地区公民館、片桐地区公民館、平和地区公民館、南部公民館、中央公民館、矢田コミュニティ会館

◆もの忘れ相談会(無料・要申込)



日時=9月14日(月)10時～12時

場所=矢田コミュニティ会館 会議室1・2

対象=市内在住・在勤の人

定員=3人(先着順)

申込=第五地域包括支援センター(☎52-3480)

◆若年性認知症相談会(無料・要申込)



日時=9月29日(火)

13時30分～15時30分

場所=平和地区公民館

2階団体交流室

対象=市内在住・在勤の人

定員=2人(先着順)

申込=第四地域包括支援センター(☎51-0700)

◆認知症サポーター養成講座(無料・要申込)

希望者のみ講座終了後、もの忘れ相談を行います。(要申込)

日時=9月15日(火)14時～15時30分

場所=市役所306・307会議室

対象・定員=市内在住・在勤の人、10人(先着順)

申込=地域包括支援センター(☎55-7733)



←オレンジリボンを受講者へプレゼント



認知症の人の思いを知るために⑧

～市居宅介護支援事業所連絡会からのメッセージ～



「認知症の人の声(思いや気持ち)」を聴くときに心掛けたいこと」について、医療と介護の関係者がメッセージを連載しています。

- 認知症になると今までと変わってしまい、自分では何もできなくなってしまうと思いませんか?
- たとえば、歳をとれば外見は若い時とは変わってきます。
- ただ、もっと格好良くなる人もおられますし、歳をとった方が相手に対して安心感を与えるようなこともあり、必ず悪くなる訳ではありません。それと同じで、認知症も変化があるだけで、それをどう捉えるかは周りのとり方次第です。本人に合わせて優しく対応していただければ、より良い関係づくりができるかもしれません。
- 市では意思決定を引き出すヒントとなる「わたしノート」を用意しています。たくさんコミュニケーションをとるために是非活用いただければ幸いです。

☎ 地域包括支援センター(☎55-7733)